

2026年度 第5回（10月）北辰テスト対策 予想問題【B版】 解答・解説

社会

1 問1（4点）

ヒマラヤ山脈

解説: ヒマラヤ山脈は世界最高峰のエベレスト（チョモランマ）をふくむ山脈で、インド・ネパール・中国などにまたがる。アルプス・ヒマラヤ造山帯の一部。北側にチベット高原が広がる。

採点ポイント: 「ヒマラヤ」の表記。「山脈」まで書けるとよい。

1 問2（4点）

ア

解説: バンコク（タイ）は**熱帯**のサバナ気候。一年を通して気温が高く（月平均 26～30℃）、**雨季と乾季**がはっきり分かれる。アは気温がほぼ一定で高く、5～10月に降水が集中しているので熱帯の雨季・乾季型。

イは冬の気温が 0℃ 以下まで下がるペキン（温帯・冷帯の境）、ウは夏の気温が 30℃ をこえ 7～8 月に降水が集中するデリー（モンスーン）、エは一年中ほとんど雨が降らないリヤド（乾燥帯）。

採点ポイント: 「気温の年較差が小さい＝低緯度」「雨季・乾季＝サバナ気候」。

1 問3（3点）

イ

解説: インドは人口が世界最多級で、国民の約 8 割が**ヒンドゥー教**を信仰する。英語を話せる技術者が多く、アメリカとの時差を生かして**情報通信技術（ICT）産業**が発達した（ベンガルールなど）。アは中国、ウはサウジアラビア、エはインドネシアの説明。

採点ポイント: 「ヒンドゥー教」「ICT産業」「牛を神聖視」がインドのキーワード。

1 問4（3点）

経済特区

解説: 経済特区は、シェンチェン（深圳）などに設けられ、外国企業の工場を誘致して中国の工業化を進めた。中国は「世界の工場」と呼ばれるようになった。

採点ポイント: 「経済特区」の 4 字。「特別区」は誤り。

1 問5 (5点)

輸出の大部分を原油とその関連製品にたよっているため、原油の価格が下がると国の収入が大きく減ってしまう。

解説:

グラフ2の要点: 原油 68 % と石油製品 12 % で、輸出の **8 割**が石油関連。

このように特定の産物にたよる経済を**モノカルチャー経済**という。産物の**国際価格**が変動すると収入が不安定になるのが課題。

サウジアラビアは石油輸出国機構 (OPEC) の中心国で、近年は観光や製造業など石油以外の産業を育てようとしている。

採点ポイント (5点): ①「原油 (石油) にたよっている」(2点) ②「価格」を使って、価格の変動で収入が不安定になる (3点)。「輸出が多い」だけでは課題に触れていないので 2 点。

1 問6 (3点)

ウ

解説: 人口が 14 億人をこえる **II** はインド (ヒンドゥー教)。残る 2 国はどちらもイスラム教が主な宗教なので、面積と人口で見分ける。**I** は人口 2.8 億人で面積のわりに人口が多いインドネシア (世界最多のイスラム教徒人口)、**III** は人口 3600 万人と少なく面積が広いサウジアラビア (国土の大半が砂漠)。

採点ポイント: 宗教で 1 つ絞り、人口密度で残りを分ける。

2 問1 (3点)

シラス台地

解説: **シラス台地**は、火山の噴出物が積もった台地で、水はけがよく稲作に向かないため、さつまいもや茶の栽培、畜産 (豚・肉牛・鶏) がさかん。鹿児島県は豚の飼育頭数が全国有数。

採点ポイント: 「シラス」の表記。「台地」まで書く。

2 問2 (3点)

ア

解説: 福岡県北九州市には 1901 年に**官営八幡製鉄所**がつくられ、筑豊炭田の石炭と中国からの鉄鉱石を使って鉄鋼業が発達した (北九州工業地帯)。現在は自動車工業や IC (集積回路) 工業に移り、九州は「シリコンアイランド」と呼ばれた。イ は沖縄県、ウ は長崎県、エ は熊本県の説明。

採点ポイント: 「八幡製鉄所 = 福岡 (北九州)」。

2 問3 (3点)

エ

解説: 1 月の平均気温が 17 °C と最も高い **III** が**那覇市** (亜熱帯の気候)。残る 2 市のうち、1 月の気温が高く 7 月の降水量が多い **II** が**鹿児島市** (南に位置し、梅雨・台風の雨が多い)、**I** が**福岡市**。

採点ポイント: 緯度が低いほど冬の気温が高い。

2 問4 (5点)

P＝促成栽培／他の産地の出荷が少ない時期に出荷できるので、高い価格で売ることができる。

解説:

促成栽培は、温暖な気候やビニールハウスを利用して、野菜の生育を早めて出荷する栽培方法。宮崎平野や高知平野でさかん。

冬から春は他の産地の出荷が少ないため、市場では**価格が高くなる**。その時期に出荷できることが農家の利点。反対に、涼しい気候を利用して出荷を遅らせるのが**抑制栽培**（長野県の高原野菜など）。

採点ポイント (5点)：用語 2 点／理由 3 点（「他の産地が少ない時期に出荷」＋「高く売れる」の両方）。「早く出荷できる」だけでは価格の話がないので 1 点。

2 問5 (2点)

ウ

解説:

I 誤：温泉 (♂) は S 駅からみて右上、つまり**北東**にある（北西ではない）。方位は地図の上が北。

II 正：2 万 5 千分の 1 なので、地図上 3 cm は $3 \times 25000 = 75000 \text{ cm} = 750 \text{ m}$ 。

採点ポイント：「実際の距離＝地図上の長さ × 縮尺の分母」。単位を cm → m に直す。

3 問1 (4点)

聖徳太子

解説: 聖徳太子（厩戸皇子）は推古天皇の摂政として、冠位十二階・十七条の憲法を定め、遣隋使を送った。仏教を重んじ、**法隆寺**を建てた。この時代の仏教文化を**飛鳥文化**という。

採点ポイント：「聖徳太子」または「厩戸皇子」。「聖徳太子」の誤字に注意。

3 問2 (3点)

ア

解説: 天平文化は、遣唐使を通じて唐の文化の影響を強く受け、さらにシルクロードを通じて西アジアやインドの文化も伝わった**国際色豊かな**仏教文化。正倉院にはペルシャ風のガラス器なども残る。イ は国風文化、ウ は鎌倉文化、エ は桃山文化。

採点ポイント：「天平＝唐・国際的」「国風＝日本風」の対比。

3 問3 (3点)

ア

解説: 『源氏物語』は紫式部、『枕草子』は清少納言。どちらも**かな文字**を使って書かれた、国風文化を代表する作品。紀貫之は『古今和歌集』の編者・『土佐日記』の作者。

採点ポイント：「源氏物語＝紫式部」「枕草子＝清少納言」のペアを固定で覚える。

3 問4 (3点)

イ

解説: 鎌倉新仏教: 浄土宗=法然、浄土真宗=親鸞、時宗=一遍、日蓮宗=日蓮、臨済宗=栄西、曹洞宗=道元。念仏(南無阿弥陀仏)や題目(南無妙法蓮華經)を唱えるだけでよいという、わかりやすい教えが武士や民衆に広まった。

採点ポイント: 6 宗派と開祖を対で覚える。「親鸞は法然の弟子」で浄土宗と浄土真宗を区別。

3 問5 (3点)

ウ

解説: 安土桃山時代は 1573~1603 年ごろ。1588 年にイギリスがスペインの無敵艦隊を破り、海上の覇権がスペインからイギリスに移り始めた。ア の十字軍は 11~13 世紀、イ のルターの宗教改革は 1517 年(室町時代)、エ のアヘン戦争は 1840 年(江戸時代末)。

採点ポイント: 日本の時代と世紀を対応させる(安土桃山=16 世紀後半)。

3 問6 (3点)

エ

解説: 桃山文化は、天守をもつ壮大な城(安土城・大阪城・姫路城)、狩野永徳らの豪華な障壁画(ふすま絵)、千利休のわび茶、出雲阿国のかぶき踊りなどが代表。東大寺南大門の金剛力士像は鎌倉文化(運慶・快慶)。

採点ポイント: 「適切でないもの」を選ぶ。文化財と時代の対応を確認。

4 問1 (4点)

廃藩置県

解説: 廃藩置県により、藩主に代わって政府が派遣した県令(府知事)が地方を治めるようになり、中央集権国家の土台ができた。その前の版籍奉還(1869 年)は、藩主が土地と人民を天皇に返した改革。

採点ポイント: 「廃藩置県」の 4 字。版籍奉還と順序も区別。

4 問2 (3点)

イ

解説: 1873 年の徴兵令は、満 20 歳以上の男子に兵役の義務を課した。士族だけでなく平民も兵士とし、近代的な軍隊をつくることが目的(富国強兵)。当初は免除規定が多く、農村では反対一揆もおきた。

採点ポイント: 「満 20 歳」「男子」「士族・平民を問わず」。

4 問3 (3点)

ア

解説: 政府は殖産興業の政策のもと、群馬県に官営模範工場の富岡製糸場をつくり、フランスの技術で生糸を生産して輸出した。「富国強兵」は国を富ませ軍を強くするという明治政府の基本方針で、殖産興業と徴兵令はその具体策。

採点ポイント: 「富岡製糸場＝生糸＝群馬」。八幡製鉄所（鉄鋼・福岡）と区別。

4 問4 (3点)

ウ

解説: 西南戦争（1877 年）は、政府を去った西郷隆盛を中心とする鹿児島の士族が起こした最大の士族反乱。徴兵令でつくられた政府軍に敗れ、以後、政府への不満は武力ではなく言論（自由民権運動）で表されるようになった。

採点ポイント: 「西南戦争＝西郷隆盛＝最後の士族反乱」。

4 問5 (5点)

土地の価格である地価を基準に、決まった額を現金で納めさせることで、収穫高に左右されない安定した税収を得るため。

解説:

江戸時代の年貢は、収穫高に応じて米で納めたため、豊作・凶作や米価によって政府の収入が変動した。地租改正では、土地の所有者に地券を発行し、地価の 3 % を現金で納めさせた。これで毎年一定の税収が確保できるようになった。農民の負担は変わらず重かったため各地で反対一揆がおき、1877 年に税率は 2.5 % に引き下げられた。

採点ポイント (5点): 「地価」「現金」の両方を使い (2点)、「収穫に左右されない安定した収入を得る」という目的が書けている (3点)。

4 問6 (3点)

ア

解説: 国会開設までの流れを年代順に:

1. c 国会開設の勅諭: 1881 年 10 年後の国会開設を約束
2. b 内閣制度: 1885 年 伊藤博文が初代内閣総理大臣
3. a 大日本帝国憲法: 1889 年 天皇が国民に与える形で発布
4. d 第 1 回帝国議会: 1890 年

「勅諭 → 内閣 → 憲法 → 議会」と、準備が整えられていく順序。

採点ポイント: 憲法 (1889) と議会 (1890) の順序を取りちがえない。

5 問1 (3点)

イ

解説: 国際分業とは、各国が得意な産業（競争力のあるもの）の生産に力を入れ、たがいに貿易で交換し合うこと。グローバル化によって国境をこえた分業が進み、1つの製品の部品が複数の国でつくられることも多い。

採点ポイント: 「得意なものを生産し、貿易で交換」。

5 問2 (3点)

ウ

解説: グラフ7では1965年の73%から2020年の37%まで、自給率はほぼ一貫して低下している。安い外国産の食料が輸入され、国内の農業が縮小したことが背景。食料を輸入にたよると、国際情勢の変化で供給が不安定になる課題がある。

採点ポイント: 「半分以下に下がった」という大きな傾向を読む。ア・イ・エは数値がグラフと合わない。

5 問3 (3点)

多文化共生

解説: 多文化共生は、グローバル化で日本に暮らす外国人が増える中で重視されている考え方。学校や地域で、言語や宗教のちがいに配慮した取り組み（多言語の案内、ハラルに対応した食事など）が進められている。

採点ポイント: 「多文化共生」の5字。「国際交流」ではない。

5 問4 (3点)

ア

解説: 感染症の世界的な流行、地球温暖化、テロなどは一国では解決できず、国際協力が必要になる。一方で、グローバル化により国内の産業が外国との競争にさらされ、産業の空洞化などの課題も生じる。

採点ポイント: 「グローバル化＝協力の必要」と「競争の激化」の両面。

6 問1 (3点)

イ

解説: 桓武天皇は、仏教勢力の影響が強くなった平城京（奈良）を離れ、長岡京を経て794年に平安京（京都）に都を移した。また、坂上田村麻呂を征夷大將軍に任じて東北地方の蝦夷を攻めさせた。

採点ポイント: 「平城京＝元明天皇（710）」「平安京＝桓武天皇（794）」。

6 問2 (3点)

エ

解説: 人口 145 万人・観光客 5000 万人と規模が最も大きい II が京都市（政令指定都市・国際観光都市）。残る 2 市のうち、面積が 40 km² と小さく観光客が人口の 100 倍以上ある III が鎌倉市（首都圏から日帰り客が多い）。I が長崎市。

採点ポイント: 人口で 1 つ決め、面積と観光客数の比で残りを分ける。

6 問3 (4点)

出島

解説: 鎖国のもとで、幕府は長崎を唯一の貿易港とし、出島にオランダ商館を置いた。オランダはキリスト教を広めないと約束していたため貿易が許され、ヨーロッパの情報（オランダ風説書）や学問（蘭学）が日本に入った。中国（清）とも長崎で貿易した。

採点ポイント: 「出島」の 2 字。